

第22回文の京景観賞 1次選考 講評(都市景観部門)

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (100点満点)	順位
13	1	日本医科大学付属病院 街並みと調和し地域に 貢献する緑豊かな病院	千駄木1-1-5	<p>付属病院の新築に伴い新たな庭園で、見事なものである。また、エレベーターも設置され、障害者などにも配慮されているのは立派である。</p> <p>リニューアルされた病院の敷地に遊歩道を多く作り周囲の動線を自然にガーデンに引き入れる工夫がされている。植栽も多くみどり豊かな景観を新たに作り出し環境改善に寄与している。</p> <p>病院らしいやさしい色づかいの外壁と緑豊かな公開空地は、心地よい街並みを作り上げて景観に貢献している。又、人・車の導線改善を図ったのは、地域の声を聞き一体となって取り組んだ結果だと思う。そして、病院機能を維持しながら長年に渡り計画を遂行されてこられたことの努力に敬意を表したい。</p> <p>建設計画で生まれた広大な緑地が周辺の住宅街へ潤いを与えている。</p> <p>以前は外壁で地域を遮断されていたという。改築後は地域住民が敷地を通り抜けできるビーグルバスが発着するなどの貢献度が高く、緑の量が多く評価される。</p>	95	1
23	4	傳明寺の藤の花	小日向4-3-11	<p>街区の交差点に対し見える境内の藤棚が美しく迫力がある。</p> <p>こじんまりとしているが手入れされた緑豊かな空間。都会の中にあって潤いを感じさせる。開放的な感じの庭は外から見ても緑で覆われ、藤の花の華やかさを思わせる。</p> <p>季節には立派な花をつけるであろう見事な藤棚は、“藤坂”という名前が残ることから地域に歴史的な景観の意味を与えている。寺の紋も下がり藤、美しいこもれ陽が印象的な通称“藤寺”。</p> <p>都心にあるとは思えない静かなたたずまいで、素晴らしい景観である。</p> <p>藤棚の下を歩いてみると藤の花は咲いていませんでしたが、光と影のコントラストがとても心地よかった。街並み景観としてばかりでなく本堂へのアプローチとしてきっと多くの人に好まれている空間なのだろうと思った。清掃の行き届いた境内と併せて訪れる人を和ませていることと思った。</p>	84	2

受付 番号	プレ 選考 順位	名称	所在地	講評	計 (100点 満点)	順位
6	3	斬新と自然が協和する 大江戸線飯田橋駅	後楽1-9	<p>巨大な昆虫の羽根のような形は換気塔の外壁に取りついている。換気と羽根は何か結びつけての発想なのか。竣工後20年以上経過しているのに劣化や汚れがあまり目立たないのは、材料の選択、そしてこの形状がよかったのでしょうか。何よりこのダイナミックさは凄いと思った。</p> <p>特色ある外形で街並にも調和してる。</p> <p>有機体のような彫刻アートの要素を無機質になりがちな換気塔にランドマーク的な目を引く斬新さで地域に特徴を与えている。</p> <p>有機的な形と都会的センスのパブリックアートとして異彩を放つ。周囲に緑が少なく地下鉄入口付近という場で近い視点になりがちで圧迫感がやや残念である。</p> <p>昆虫の羽を思わせるダイナミックな造形を施した外観が通りに景観上のインパクトを与えている。</p>	80	3
25	5	紅葉に染まった 窪町東公園	大塚3-30-5	<p>もともと樹木の多い公園で、静かなたたずまいは素晴らしい。しかし、健常者のみ受け入れる場所になっている。</p> <p>ビルやマンションが並ぶ通りにあって小川を挟み潤いを感じさせる公園。紅葉の季節は特に綺麗だと思われる。</p> <p>紅葉の頃には美しい風情をたたえる公園になるのかもしれないが周囲の環境(借景)、ビル、マンションの色彩含め、キツイ…公園のメンテナンスが気になり。</p> <p>湯立坂通り沿いに続く並木が美しい公園だ。背景には占春園の林が広がり、筑波大学や教育の森公園との一体感もあり、文京区のひとつの顔となっている地域と思う。公園内には整備されたトイレがあり、小さな流れの途中には水車も施されていて良好な周辺環境を形成している。</p> <p>街路沿いの傾斜地にある公園の緑が美しく、水路を取り入れた公園づくりが面白い。</p>	59	4

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (100点満点)	順位
12	5	お化け階段	弥生2丁目と根津1丁目の間 (弥生2-20)	<p>現在の複雑な形状の階段が出来た原因と思える、幾度かの変更や拡幅の跡が確認できる。</p> <p>住宅地の奥まったところに位置しているようで、回廊する道の抜け道としての存在でもある。生活の臭いもあるが、文学の香りもする。この坂の歴史を勝手に想像する楽しさもあった。この坂上からの見晴らしは昔は素晴らしかったのだろうと思った。</p> <p>名前は面白く、何かいわくがあるような感じを与えるが、それほどの景観ではないと思う。</p> <p>緩やかに屈曲した石段の坂はレトロな感じがあり周囲に馴染んでいる。密集した住宅街にあって潤いを与える階段である。</p> <p>”お化け”のネーミングは興味深い説明されていないとわからないところがつまらない。景観的にも特に印象がない。むしろ危険な階段が心配である。</p>	58	5
21	5	丸ノ内線とアジサイ	春日2-5 (金剛寺坂)	<p>現地調査では陸橋にフェンスがたてられており提出の風景は実際には見ることができない…。</p> <p>線路上の橋からかろうじて見える。</p> <p>丸ノ内線は私たち区民にとっては動くランドマークのようなものだ。後樂園周辺で地上に顔を出してはすぐに都会の喧噪に消えていく。春日2丁目周辺の橋からは、その朱色の車体は土手の緑色とのコントラストが美しい。アジサイの時期には更に鮮やかな色の競演となり、青い空も加わり印象的なひとつの光景であると思った。</p> <p>緑に囲まれた地下鉄線路は都市のなかでも珍しい景観。きれいなアジサイの花咲く時期に着目したのは美しい景観を普段から意識しているからか。</p> <p>花の咲く頃は美しいだろうが、それほどの景観とは思えない。</p>	50	6

第22回文の京景観賞 1次選考 講評(景観づくり活動部門)

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計(100点満点)	順位
2	1	文京区小石川吹上坂近辺におけるロード・サポート	小石川4丁目(吹上坂近辺)	<p>閑静な住宅街の歩道がきれいに清掃されている。継続的な清掃活動の成果が感じられる。</p> <p>継続した活動であれば評価にあたいすると思われる。現地では特に際立った印象はなかった。</p> <p>坂道の清掃は大変かと思うが街路が大変きれいに保たれている。</p> <p>企業ぐるみで活動を継続されているところに敬意を表したいと思います。又、ロードサポート活動の代表として応募したというところに好感を持ちました。区内の他グループへの励みにもなって欲しいものです。</p> <p>吹上坂はもともと美しい道であり、その維持に努力されているのは評価できる。</p>	74	1
1	2	西片公園の鯉のぼり	西片2-3(西片公園)	<p>数年前に大幅に改装された公園で、住宅街の中心になって子供達に素晴らしい遊び場を提供している。秋・冬にも何が提供できるか考えてほしい。</p> <p>小さな公園の有効利用が興味深い。</p> <p>西片会館近く一帯は幕末の老中、阿部正弘のおひざ元であり、文京区の中でもブランド力ある町名のひとつ。子供達の喜ぶ姿を想像して、地元地域への誇りや歴史への興味を培う要素も期待したい。</p> <p>地域のコミュニティ醸成にとっても良い活動だと思いました。このような活動からおざなりがちな地域の連帯が生まれ、育ち、安全な街づくりが形成されていくものだと思います。実際鯉のぼりを飾られた時の景観を見てみたいと思いました。</p> <p>リニューアルされた公園は明るく面積に比べて広さを感じさせる。鯉のぼりは年1回だが子供たちの喜ぶ景観が容易に想像される。継続的な活動を期待する。</p>	73	2

第22回文の京景観賞 1次選考 講評(こども景観写真部門)

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (100点満点)	順位
1	1	大きなふねとおおきな木	白山1-27-10 (丸山新町公園)	<p>船の形をした大きな遊具で遊ぶ子供の視点が生き生きと感じられる。緑の木々と遊具の新鮮なカラーで小さな公園の楽しい景観が引き立った。</p> <p>撮影者の子供の気持ちが写真から強く感じられた。好きでたまらない船の遊具をみんなに伝えたいのでしょう。一日中でも遊んでいられるのですね。</p> <p>子供の観点から大きな木と公園の設置物の対比が面白い。</p> <p>斜めに見上げている構図が良い。</p> <p>大木のグリーン色と船の赤青白のカラーの対比、子供視線の見上げたアングルや画像のトリミングがうまい。</p>	85	1
9	3	きらきら	白山3-7 (小石川植物園)	<p>大きな樹木とその下でくつろぐ男の人。子供ころには椅子を持ち込んで、リラックスしている姿が不思議なのかもしれません。その対比させた構成は面白いと思った。</p> <p>植物園はどこでも美しいが、大木を街の景色の対比で新しい風景をとらえているのが良い。</p> <p>大きく繁った樹木の光と影に夏の陽射しをうまく捉えた。小さな人影が点景として植物園の広い景観を感じさせた構図も上手い。</p> <p>夏の日差しと木陰のコントラストが美しい。</p> <p>夏の昼下がりを大木のこもれ陽の濃淡を美しくとらえている。</p>	83	2
18	4	鏡の池	目白台1-1-22 (肥後細川庭園)	<p>細川庭園は美しい庭であるが、池との対比で建物・樹木を表現しているのは素晴らしい。</p> <p>澄みきった鏡面を前にした感動を伝えたかったのでしょう。空の雲がうつり込んでいる！</p> <p>池に映った景色を発見した喜びが表現されている。水面の線を中央に配置して鏡のように池に建物が映る構図を強調した。</p> <p>カメラを持って散歩していたのですね。大人のような行動の中に、小さな子供が大きな目を見開いて被写体を追っていた姿が想像できました。鏡の池を見つけて「やったー！」と思ったのでしょうか。</p> <p>庭園の緑と建物が水面に良く映っている。</p>	82	3

受付番号	プレ選考順位	名称	所在地	講評	計 (100点満点)	順位
2	2	上から見た、れきせん公園と文京区のシンボルマーク	春日1-16-21 (シビックセンター展望台)	<p>上から見た視点が面白い。</p> <p>普段見慣れた風景をシビックセンターの展望台から”見つけた！”かんじ。文京区のシンボルマークをとらえてプロっぽいアイデア。</p> <p>展望台から公園をみた新鮮な気持ちがよく現れている。緑の植栽と小さな人々のスケールの対比が面白い。</p> <p>公園で遊んでいる時にはわからなかった幾何学的模様を見つけて、驚いて、思わず「ラッキー」とシャッターを切った子供こころの純心さを感じた。</p> <p>よく見なれた風景でも、視点を変えるとまた新しく見えるのが良い。</p>	79	4
19	5	森の主	白山3-7 (小石川植物園)	<p>ボリューム感のある樹木を背景にしてバッタの視線で撮ったのは独創的。小さな生物とともにある子供ならではの視点の景観を捉えている。</p> <p>小動物を見逃さず、そしてその昆虫の世界に入って、さらにその目線で風景を捉えているところがよかった。</p> <p>生い茂る大木の緑を手すり越しに見ているのが興味深い。</p> <p>よくぞ見つけた！という面白視点。タイトルも◎。</p> <p>植物園の大木で大きな園を表現しようと思うが、それだけで植物園の魅力を十分に表現できていると思う。</p>	79	4